



春  
契

年五中屋は水引の景色ぬく 谷年  
 降白を立霧と解くや維平の野 梅通  
 春は松や文や山雲をたたく音 野左  
 春白や山松よあけ 一日路 素屋  
 梅さくや春を統へ春よたのいふ 水壺  
 こころを足さる旅一 梅の露 西馬  
 春白やけさ東よ春よ春のよめる 為山  
 春は里の餅つまねてく喜小 漢高  
 初春風やひと汐波や肩休め 文常  
 船窓の光うつろふや世の春うら 有中  
 望のけりる春を春に春を春か 篤之  
 其室し健児所の辰がつ免 らうふ  
 春こころけりる春よ春よ梅 涿岱

成のそとけ

涿岱  
